

令和4年度

事業報告書

特別養護老人ホーム

短期入所生活介護

デイサービスセンター

居宅介護支援事業所

令和4年度事業報告

令和5年6月
介護老人福祉施設 亀保の里

亀保の里の運営方針である「利用者本位の施設作り～亀保の里で余生を送れて良かった～」を目指し、利用者・利用者家族が安心して利用できるよう利用者処遇及び、施設と地域との交流を推進してきた。前年度の介護報酬改定では、新型コロナウイルス感染症や大規模災害が発生する中で「感染症や災害への対応力強化」を図るとともに、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、また次の2040年（少子化が進み、第2次ベビーブーム期の子ども達が64歳以上になる）も見据えながら、「地域包括ケアシステムの推進」、「自立支援・重度化防止の取組の推進」、「介護人材の確保・介護現場の革新」、「制度の安定性・持続可能性の確保」を図ることとされている。

- ① 「感染症や災害への対応力強化」・・・感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築
- ② 「地域包括ケアシステムの推進」・・・住み慣れた地域において、利用者の尊厳を保持しつつ、必要なサービスが切れ目なく提供されるよう取組を推進
- ③ 「自立支援・重度化防止の取組の推進」・・・制度の目的に沿って、質の評価やデータ活用を行いつつ、科学的に効果が裏付けられた質の高いサービスの提供を推進
- ④ 「介護人材の確保・介護現場の革新」・・・喫緊・重要な課題として、介護人材の確保・介護現場の革新に対応
- ⑤ 「制度の安定性・持続可能性の確保」・・・必要なサービスは確保しつつ、適正化・重点化を図る

この5つの柱を基本的な視点として、ますます重度化される高齢化社会に対し、ニーズに対応できる施設体制を整備するだけでなく、新規未経験職員の育成に努め、質の向上を図ることを最大の目標とした。しかし今年度も新型コロナウイルス等の感染症の為に平穏な日常が大きく変貌した。しかし感染症対策の徹底により、施設内感染の蔓延は避ける事が出来た。しかし今後の5類への移行により行政から個人判断に切り替わることで感染状況の把握などできにくくなるリスクもある。しかし今までの感染対策を見直しながら制限の解除に向けて努めていかなければならない。

[利用者処遇]

日常生活においては季節ごとのいろいろな行事も感染対策を行いつつながら実施し、出来る限り昼間の活動を増やすようにした。ゆつくりと（職員と利用者が寄り添い合って）過ごせる為に日常生活の支援に力を注いだ。そのため各階での特長を生かした催しや、時間の過ごし方などが増えた。衛生面では清潔を保持する為に入浴については各階で行えるようになりゆつくりと入浴が行えるようになった（週4回月、木は個室・リフト浴。火、金は特殊浴）実施。また、体調不良等で入浴出来ない方については看護職員と連携を図りながら清拭、更衣を行った。シーツ交換（週1回）・室内清掃はその都度出来るだけ行った。

利用者の重度化に伴い、医療を必要とする利用者も増えた。その為看護職員への24時間連絡体制の整備。喀痰吸引においても介護職員で対応できるように特定行為従事者研修を重ね、夜間帯においても必ず対応できるようにした。

感染流行時期においては、面会制限や外部感染（面会者等）しないよう、予防の観点から各所の殺菌器の設置や入館時の手指の消毒依頼を行った。利用者の口腔ケア・職員の手洗い等も徹底した。

新型コロナウイルスにおいては福岡県の補助事業で施設職員の抗原検査を最大限利用し、陽性者の早期発見に努めた。またワクチン接種を推奨しほぼ全利用者に関わる全職員も実施した。(8割以上は6回接種済)その他各種流行性の感染症に対して看護職員が中心となり都度対策を図った。

感染状況に応じて面会制限を行った。面会日(水・土・日14:00～16:00の10分間予約制)には常時ビデオ通話も可能とした。

- ・4月9日より市内での新規感染者の増加により対面での面会を辞め、ビデオ通話のみ
 - ・5月8日より1階の地域交流室においてアクリル板越しの短時間のみ面会制限の実施。
 - ・7月20日より第7波到来し施設内でも陽性者が出た為対面での面会を辞め、ビデオ通話のみ
 - ・10月1日よりガラス越し面会の再開。(事務室と園外を電話をつかって会話する)
 - ・12月1日よりアクリル板越しの面会の再開。(地域交流室)
 - ・年末に対面での面会を制限したが、1月18日よりガラス越し面会の再開
 - ・3月15日よりアクリル板越しの面会を再開
- 地域の感染状況に応じて制限緩和を繰り返しながら、入所者が疎外感を感じないように配慮し、施設内行事等も外部の参加を中止し規模を短縮して実施。

高齢者虐待の対応については身体拘束廃止委員会の際に参加者でWEBセミナーや資料を閲覧するようにした。

口腔ケアは食後2回実施するように徹底し、歯科医療機関との連携により月2回は歯科衛生士による専門的な口腔ケアを行い、誤嚥性肺炎の予防に努めた。

医療面では入所時に出来る限り多くの情報収集に努め、日常の状態観察、医療機関との連携を1ヵ月。可能な限り予防接種は接種するように努める。結核予防法による胸写検査(年1回)を実施し、異常の早期発見に努めた。

施設内で褥瘡を作らないために、また早期治療に取り組み為のワニユアルを策定する。対策担当者を中心に年2回の委員会を開催し各職種が協働で対応を行い、その他医療機関との連携を図りながら対応した。

重度化への対応としてターミナルケアを遂行し、慣れた環境の中で、利用者・家族・職員に見守られながら終焉を迎えられるよう医療機関との連携を図りながら最善を努めた。

利用者の医療必要度が重度化の為、医療機関との連携を図りながら高度医療(胃ろう、経管栄養)の導入に対応できるよう外部研修にも積極的に参加し専門的知識を習得し、対応できるような体制を整えた。また今後は末期がんや透析患者の受け入れニーズにも対応していく必要がある。

機能訓練指導員及びリハビリ係を中心に機能訓練を利用者ごとの個別機能訓練実施計画書に基づき実施。天気の良い日は気分転換を兼ねて日光浴を都度行なった。

・入院延べ日数 1072日入院日を含める。(比較:令和3年度 679日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入院日数	37	110	101	132	171	104	78	100	61	31	101	46

・入院件数 46件(入院者28名) ・退院件数37件 ・退所件数6件 ・転院件数2件

〔各サービス専門委員会報告〕詳細については別紙実施報告書による入浴専門委員会…ゆつくりと安全に入浴していたための取り組み。

- ・入浴時の安全な介助方法については各フロアで指導していく。
- ・各利用者の身体状況に合わせた入浴方法の定期的な検討(個浴、リフト浴、特殊浴)
- ・リフト浴及び特殊浴槽の設備点検を行い、安心して入浴してもらう。
- ・入浴介助者の熱中症対策や身体的負担軽減の為、担当表を作成する。
- ・剥離のリスクの高い利用者に対する介護方法の徹底。

食事専門委員会…食事環境の整備及び口腔内の清潔に努め、自器具等の検討。

- ・各職種が連携し、各利用者の栄養状態の把握及び経口摂取の継続に向けての情報収集(給

食会議の参加)

- ・安全で楽しく食事をとっていただく為の研修会(嚥下食、認知症高齢者の食支援)の開催
- ・行事食については見た目などにも食欲が感じられるよう努める。
- ・口腔ケアの更なる改善(月2回の全入所者へ歯科衛生士の専門的な口腔ケアの実施や指導)
- ・嚥下訓練(リズム体操)を改良し、あいうべ体操を組み込み、昼食、夕食の1日2回実施を徹底。

排泄専門委員会…各利用者の排泄状況の把握、個々に合った排泄方法の検討

- ・各入所者の排泄サイクルを確認し、個人別排泄物品の検討を行い、紙おむつメーカーとの意見交換を行い、より快適に過ごせるよう努めていく。
- ・プライバシー保護の観点からも排泄臭の配慮を行っていく。
- ・「排泄ケアについて」排便記録を量だけでなく形状についても記載(ブリストル便性状スケール)
- ・嘔吐、下痢の感染拡大を防ぐための処理方法の徹底について

移動移乗専門委員会…移動移乗の際の介護事故の防止及び技術・サービスの向上

- ・新人介護職員移乗介助研修会の開催
 - ・各利用者に合った移動物品の選択
 - ・移動物品の定期的点検及び修理。
 - ・身体拘束廃止に向けた取り組み (赤外線センサー、センサーマットの管理)
- ## 環境整備専門委員会…快適・安全に生活を送れるよう徹底する
- ・施設内の共用部(ゴミ置き場、ベランダ、ピロティ等)の定期的な清掃
 - ・施設周辺でも季節感を感じられるように玄關花壇の管理・屋外バルコニーの管理
 - ・天災後の施設物品の故障箇所等の点検、報告
 - ・新型コロナウイルス等の感染予防の対策の周知(消毒や予防策)

[リスク マネー ジメント]

日常生活において危険(職員がヒヤリしたりハッとしたり)に遭遇した際、ヒヤリハット報告書を提出してもらい、対応策を検討することで大きな事故を未然に防いでいくように努めた。また結果を集計し、発生しやすい時間・場所・利用者等の特定をすることで、ハイリスク者として出来る限りの対応を行った。転倒転落が多いが、重度の骨粗鬆症の利用者もいるので油断しないように周辺環境の整備を行った。がら見守りの強化に努めた。表皮剥離も多く、後発部位の保護や介助方法の検討にも努めた。職員への意識改革を行い、ヒヤリハットの事項を各部署で回覧等を行い、多くの職員に伝達するよう努めた。今年度は報告が必要な事故の発生はありませんでした。予測できるリスクにおいては対策会議を行い、必要な研修会を開催し再発防止に努めた。今後も認知症高齢者の増加や予期せぬ事態も考えられるため、常時見守りができにくい時間帯はセンサーマット、赤外線センサーを活用し安全対策を行う。また、捜索マニュアルも制定し、行方不明事故などにも対応できるように認知症ケアの更なる強化を図った。

(ヒヤリハット報告書提出件数 令和4年度:162件 比較 令和3年度:160件)
(事故報告書件数 令和4年度:0件 比較 令和3年度:8件)

[安全対策]

予測のできない天災(大雨や地震等)にも目を向け、定期的に防災訓練・緊急通報訓練(防災訓練については別紙防災担当係実施報告書による)を行い、職員はもちろんのこと利用者の方々も一緒に頑張って緊急時の対応を周知し、昼夜に限らず利用者が安心して日常生活を送っていただけるよう万全の体制を備えるよう努め、安全管理については最善を尽くした。施設において最新の防災設備の使用方法を習得しておくと共に、施設設備や器材の点検を防災担当係及び環境整備専門委員会が中心となり

随時行っている。今後は地域住民をふまえた防災訓練の実施が義務化されており、行政機関と連携を図りながら対応していく必要がある、また備蓄の有効活用も検討していく。

〔苦情処理〕

施設宛に送られた今年度苦情受付件数は0件。

苦情はありませんでしたが、特にコロナ禍の面会制限等があり、閉鎖的な印象を受けやすい為、ご家族とのコミュニケーションを密に図り、利用者の状態報告を行いながらご家族とも信頼関係を築くように努めた。行政機関等の苦情窓口も紹介しており、全職員が一丸となって、苦情を真摯に対応していくことでサービスの向上に努める。

〔生活部門〕

行事計画に基づき、次の通り実施しました。例年では多くの地域行事がありますが、新型コロナウイルス対策として事前に中止となり月間行事予定内に挙げられていない行事は記載していません。

月	行事	実施状況	参加数
	創立記念祭	29日、創立44周年記念式典、入所者と職員のみで実施。	65名
4	誕生日会 移動美容室 開法会 散髪	29日、該当者4名 14日、移動美容室トミーズスター 21日、徳善寺 18日、20日 おしゃれ床屋いっのうえ 23日、ポーラ化粧品美来	65名 18名 30名 59名 10名
5	誕生日会 ふるさと訪問ツアー	28日、該当者1名 14日、15日、18日、22日、豊前、中津、吉富	50名 26名
6	誕生日会 開法会 移動美容室 あじさいバスハイク 散髪 セラピューテックケア	15日、該当者6名 カラオケ教室職員による 25日、宝福寺 29日 7日、12日、枝川内アジサイランド 13日、20日 11日、地域交流室にて	50名 35名 17名 11名 59名 10名
7	ポーラ化粧品の日 七ツカラオケ大会 誕生日会 セラピューテックケア 園内ジョyping 散髪 利用者イベント	23日 6日、サービス利用者とは合同カラオケ大会 6日、該当者6名 カラオケ大会 9日 17日、地域交流室にて豊福商事来園 27日、 22日、25日、27日	10名 50名 50名 10名 35名 31名 80名
8	物故者法要 誕生日会 お盆特別喫茶 移動美容室 散髪	4日、物故者の初盆会を行う。(外部参加なし) 27日、該当者5名 夏祭り兼ねる担当職員より 13日 3日、 8日、	60名 60名 45名 18名 28名
9	敬老の日祝賀会 誕生日会	17日、外部参加なし 17日、該当者5名	65名 65名

10	移動美容室	12日、	18名
	誕生日会	15日、該当者10名 空手演武会来園	60名
	聞法会	27日、正明寺	50名
	ポーラ化粧の日	22日、	10名
	散髪	10日、26日	59名
	コスモスバスハイク	19日、21日、23日、三光コスモス園	16名
11	亀保の里文化祭(作品展示)	地域交流室にて作品展示(7日～12日)	45名
	誕生日会	12日、該当者5名	60名
	散髪	1日、10日	57名
	ポーラ化粧の日	19日、	10名
	園内シヨッピング	20日、地域交流室にて豊福商事来園	19名
	紅葉バスハイク	7日、19日、23日、耶馬溪方面	15名
	そば打ち見物	18日、施設長・居宅ケアマネによる	35名
	散髪	19日、26日	64名
	クリスマス会(忘年会)	24日、誕生日会と兼ねる	50名
	誕生日会	24日、該当者7名	50名
12	餅つき(正月準備)	28日、地域交流室で餅を食べる	50名
	移動美容室	21日、	19名
	ポーラ化粧の日	17日、	10名
	正月祝い	1日、2日、3日、おせち料理	80名
	書き初め	13日、硬筆クラブ員ほか	40名
	ポーラ化粧の日	22日	10名
	かるた・福笑い大会	1日、	40名
	初詣	8日、11日、(石清水八幡宮、大富神社、嘯吹八幡宮、 中津大神宮)	10名
	誕生日会	27日、該当者12名 入所者と職員のみ	50名
	節分室内ゲーム大会	4日、地域交流室にてゲーム大会	50名
	散髪	27日、	36名
	移動美容室	22日、	17名
2	誕生日会	20日、該当者8名 入所者と職員のみ	60名
	聞法会	23日、正念寺	50名
	誕生日会	4日、該当者11名 入所者と職員のみ	60名
	ひなまつりお楽しみ会	4日、	60名
	桜花見バスハイク	29日、大貞公園、岩屋	10名
	梅花見バスハイク	7日、8日、12日、椎田、求菩提	6名
3	誕生日会	4日、該当者11名 入所者と職員のみ	60名
	ひなまつりお楽しみ会	4日、	60名
	桜花見バスハイク	29日、大貞公園、岩屋	10名
梅花見バスハイク	7日、8日、12日、椎田、求菩提	6名	

全体での行事計画に関しては担当者を決め、会議を開いた後、行事実施計画書を作成し、各部署に配布するように徹底した。新型コロナウイルスの流行により例年実施している行事は規模を縮小したりしながら、季節感を与えられるよう、そしてできるだけ新しい内容を試み、利用者の表情等の観察を密にすることで次年度につながるよう努めた。100歳以上の利用者は本人の誕生日にみんなでお祝いを実施した。3密になる状態を作らないためにも、天候と体調により芝生グラウンドや近隣地域へ車椅子で少人数の散歩も試みた。

おしゃべりをして、いつまでも美しく笑っていただきたい為、感染対策を行いながら、理容美容だけでなく積極的にボランティアを受け入れ、ポーラ化粧品美来より月1回は化粧をし、笑顔の写真を残した。セラピュートイックケア(手のひらのぬくもりでいろんな部位を癒す)はコロナ対策として感染状況に応じで実施した。

この他に毎月恒例の法要の日(25日)、隔週土曜日の喫茶の日やカラオケ教室、音楽リハビリは感

染状況を把握しながら実施し、毎月行われるお誕生日会でも外部も舞踊団等の来園が出来ないため、担当職員が中心となり、職員と入所者でお誕生日会を開催した。クラブ活動においては音楽クラブ、吟詠クラブ、音楽リハビリ、書写クラブを各クラブ担当者により月1回実施（別紙クラブ活動実施報告書参照。）

「職員施設外研修」

参加者	研修月日	場 所	研修内容
施設長	R4. 12. 19～R4. 12. 20	東京都 福岡市	全老協総会 県老協総会
管理栄養士	R5. 3. 9	行橋市	高齢者の栄養管理向上のための研修会

今年度より徐々に外部研修が感染対策を行いながら開催されるようになりました。新型コロナウイルス対策として多くの企業が動画配信やWEB セミナー等を開催している為、新しい機会を得る良いチャンスであるため、積極的に施設内研修として、多くの職員に参加を促すようにした。

「職員施設内研修」

令和4年度の施設内研修としては、回実施。

- ・4月21日 認知症高齢者の食支援勉強会 地域交流室にて食事専門委員会による WEB セミナーおよび栄養補助食品の試食会
- ・6月15日 新人介護職員移動移乗勉強会 地域交流室にて移動移乗専門委員会による体験研修
- ・6月16日 排泄ケア便秘ケアの改善勉強会 地域交流室にてユニ・チャームアドバイザーによる排泄記録方法の改善勉強会
- ・7月20日 京築施設協議会新人職員研修「接遇」 オンライン研修にて新人男性職員3名参加
- ・9月22日 摂食嚥下障害者の食支援勉強会 地域交流室にてWEB セミナー及びビュース食の試食会
- ・9月30日 排泄記録の改善勉強会 3F 南ホールにて排泄専門委員会と部署代表
- ・10月5日 排泄・口腔ケア新しい介護方法説明会 地域交流室にてモデルン担当者によるオンライン研修
- ・12月9日 感染症対策研修会 地域交流室にて京築保健福祉環境事務所による WEB セミナー
- ・1月16日・25日 ケアニソ〜ころろに咲く花〜上映会 地域交流室にて
- ・2月16日 ターミナルケア勉強会 人生最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するWEBI ミナーおよびグループ討議

「職員施設内会議」

- 主任・ケア会議 12回 毎月20日頃実施。
- 給食会議 12回 毎月25日頃実施。
- 入所検討委員会 2回 (4月22日、10月14日)
- リスクマネージメント委員会 2回 (4月15日、10月21日)
- 身体拘束廃止委員会 4回 (5月20日、9月28日、11月22日、2月25日)
- 褥瘡委員会 2回 (6月21日、)
- 物故者法要・夏祭り実行委員会 0回 (規模縮小の為主任会議にて)
- きばりの里秋のつどい実行委員会 0回 (規模縮小の為主任会議にて)

※この他に行事前に行事関係会議を都度開催しました。

「実習生の受け入れ」(団体別)

施設を開放し、下記の通り地域中学生の体験学習を幅広く受け入れ、福祉に対する関心を持っていただくことで地域福祉の向上に努めたが、新型コロナウイルス感染症対策として体験学習事業の全て中止。また、教員免許所得の為に介護等体験における大学生も該当者なし。

[特別養護老人ホーム実施状況]

定員80名における居室利用率 96.50% (前年度97.14%)

延べ利用実績

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無保険	利用合計
4月	0	60	548	1051	610	30	2299
5月	0	62	588	1110	592	31	2383
6月	0	60	542	1142	561	30	2335
7月	0	62	589	1137	567	31	2386
8月	0	62	580	1096	562	31	2331
9月	0	60	566	1055	583	30	2294
10月	0	62	604	1117	624	31	2438
11月	0	82	562	1039	578	30	2291
12月	0	93	518	1053	703	31	2398
1月	0	93	562	1045	713	31	2444
2月	0	84	445	961	666	28	2184
3月	0	93	527	1108	713	31	2472
小計	0	873	6631	12914	7472	365	28255

※入院・外泊加算 245日/年、初期加算 575日/年、療養食加算 6926食/年、

※看取り介護加算(1) 113日/年、看取り介護加算[2] 265日/年

看取り介護加算[3] 18日/年、看取り介護加算[4] 9日/年

※配置医師緊急時対応加算(早朝・夜間) 4回/年、配置医師緊急時対応加算(深夜) 4回/年

※口腔衛生管理加算(I・II) 934日/年、

※食費 27581日/年、居住費 28135日/年

※安全対策体制加算 22日/年、個別機能訓練加算(1) 27252日/年

※個別機能訓練加算(2) 921日/年

入退所状況 入所者80名(特例入所0名含む)

保険者	入所人数	保険者	退所人数
豊前市	16	豊前市	13
吉富町	1	築上町	1
上毛町	1	上毛町	2
中津市	3	吉富町	2
北九州市	1	堺市	1
築上町	1		
計	23	計	19

退 所 理 由	人 数	前年度人 数
ホームにて死亡	14	11
入院先医療機関で死亡	1	3
入院中回復の見込みがない為退所	4	6
病状が安定し、在宅復帰が可能であった為退所	0	0
他の施設等への転院・転所	0	2

保険者別状況 (人) 令和5年6月1日時点

豊前市	中津市	上毛町	築上町	吉富町	北九州 市	豊後高田市
59	8	3	2	5	2	1

・男性17名 女性63名

年齢別状況 (人) (比較:令和4年6月1日 平均年齢 86.9歳(男性82.2歳 女性88.2歳)

100歳以上	90歳～99歳	80歳～89歳	79歳～70歳	69歳～60歳	60歳未満
1	31	31	16	1	0

・平均年齢 86.9歳(男性82.2歳 女性88.2歳)

介護度別状況 (人) (比較:令和4年6月1日 平均要介護度 3.96

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1	2	20	38	19

・平均要介護度 3.90

入所待機者状況 (人) 24名(内特列入所待機予定者2名) 令和5年4月1日現在

(比較:令和4年4月1日現在42名 内特列入所待機予定者1名)

豊前市	中津市	上毛町	吉富町	築上町	
18	3	1	1	1	
申請中	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1	1	1	4	9	8

・待機者平均介護度 4.0 (比較:令和4年4月1日 3.8)

〔併設短期入所生活介護(介護予防)〕

実利用者数 35名 (比較:令和3年度 26名)

短期入所生活介護事業所では可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう支援する事と、その家族の負担を軽減させることを最大の目的としている。新型コロナウイルス感染症対策として利用時の体調確認及び抗原検査を徹底して実施。地域の感染状況の把握に努め、受け入れを制限することもあったが、徐々に通常の短期入所の利用ができるように対応した。新規利用者の居宅介護支援事業所との連携において少しでも在宅で過ごされることを推進した。その為、確実に施設と在宅とのつなぎを行うため、今まで以上に家族と施設の連携を深めるよう努めた。定期的な利用に繋げるための関係づくりに努めた。

実施状況

延べ件数 (比較:令和3年度 8.1件) 延べ人数 (比較:令和3年度 173.3人 1ヶ月)

保険者	広域	その他	介護予防	保険者	広域	その他	介護予防
4月	9	0	0	4月	173	0	0
5月	9	1	0	5月	187	9	0
6月	9	1	0	6月	152	30	0
7月	8	1	1	7月	160	31	4
8月	9	1	1	8月	130	31	5
9月	8	1	2	9月	98	30	12
10月	11	1	0	10月	156	31	0
11月	11	1	0	11月	137	8	0
12月	15	0	0	12月	185	0	0
1月	13	0	1	1月	206	0	13
2月	14	0	1	2月	198	0	3
3月	13	0	0	3月	207	0	0

1ヶ月の平均延べ件数 11.8件

1ヶ月の平均延べ人数 173.3人

送迎回数 (比較:令和3年度 計141回 1ヶ月の平均送迎回数 11.8回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10	12	16	12	9	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	24	36	35	32	31
合計 264回 1ヶ月の平均送迎回数 22.0回					

介護度別延べ利用者数 (比較:令和2年度 合計 2071人 平均介護度 2.7)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
31	6	354	670	550	427	158

合計 2196人 平均介護度 2.7

	令和4年度	令和3年度
特例入所者延べ利用日数	15日	0日
新規利用者数	20名(57%)	17名(65%)
他の居宅介護支援事業所の利用者数	17名(49%)	15名(58%)
亀保の里入所待機者数	12名(34%)	16名(62%)
亀保の里(特養)入所済者	9名(26%)	12名(46%)
利用ベッド稼働率平均(特例入所込み)	60%	56%

令和4年度

専門委員会
クラブ活動

実施報告書

- ・入浴専門委員会
- ・食事専門委員会
- ・排泄専門委員会
- ・移動移乗専門委員会
- ・環境整備専門委員会
- ・手芸クラブ
- ・音楽クラブ
- ・書写クラブ
- ・詩吟クラブ
- ・カラオケクラブ
- ・喫茶クラブ
- ・リハビリ係
- ・防災担当
- ・広報編集担当
- ・聞法会担当

亀保の里

令和 4 年度

専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	専務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	記入者
入浴専門委員会					×			

担当者名

生田義文 尾形正和 仲千秋 牧野美佐子
 田中さゆり 森田ヒカリ 羽野美紀

活動状況

- ① 安全で快適な入浴時間の提供
 - ・ 週4回の入浴実施。
 - 2階 個浴⇒月・木曜日 (AM)、リフト浴⇒月・木曜日 (PM)
 - 特殊浴⇒火・金曜日
 - 3階 個浴・リフト浴⇒月・木曜日 (AM)
 - 特殊浴⇒月・木曜日 (PM)、火・金曜日 (AM) ※火・金曜日 (PM) 予備日
 - ・ 移乗・移動中に転倒、転落、剥離のヒヤリハットが減少した。
 - ・ 入浴時は全身のボディチェックを行い、早期対応に努めた。
 - ・ 浴室と脱衣所の温度差をなくしヒートショックを防止した。
- ② 個人にあった入浴方法の検討
 - ・ 入浴中は入所者の体調に合わせて、適切な時間で安全な入浴を心掛けた。
 - ・ 病歴、麻痺など状態に応じて、特殊浴、個浴、リフト浴の入浴方法を検討した。
- ③ 入浴における職員の技術向上
 - ・ 新人職員に対して随時、操作の研修を行った。
 - 6月：技能実習生 (2名) に対して研修を実施。
 - ・ 入所者にゆっくり入浴を楽しんでももらえるように、職員があせらず、無理のないような入浴を心掛けように指導した。特殊浴の入浴時間を増やした。
 - ・ ヒヤリハットに対して随時検証を行い、再発防止に務めた。
- ④ 入浴機具と浴室内の管理
 - ・ 入浴終了後、清掃、残り湯に消毒剤を入れて浴槽全体の消毒した。
 - ・ サビ、カビ予防のために使用後は機械、マットの拭きあげを実施した。
 - ・ 器具の不具合がないか点検し、不具合があれば報告し、使用方法の検討を行った。

令和 4 年度

専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
食事専門委員会									

担当者名

近藤拓也 真淨友輝 松崎優子 ゆきこサネット
 北山照美 井上翔平 なつみダイア 松本真弓

活動状況

- ・ 毎月一回 給食会議を行い、各部署の意見や利用者からの状況等を話し合い、栄養士や給食会社と連携し利用者から喜んでもらえる食事を提供できるように努めた。
- ・ 利用者の体調、口腔内や養歯の調子に合わせた、状況に応じた食事形態に変更し提供した。
- ・ 食事摂取、水分補給を促進するために、嚥下小困難な利用者に対し、トロミ割を使用し安全に摂取できるように努めた。
- ・ 糖尿病の方等、制限が必要な利用者に対しては、MSや栄養士と連携を図り、状態の変化、悪化の予防に努めた。
- ・ 歯科衛生士の指導、連携を図ることで、口腔内の清潔保持に努力、利用者状態に合わせた必要物品の準備、検討を行った。
- ・ R4.9.22に食事専門委員会研修会を開き、ソフト食の試食セッションにて、カレーソフトがゆを行った。(25名参加)
- ・ 価格高騰の影響にて、トロミ割の変更が検討され、何種類かを試して使用し、R5.3月より「ソフト」から「トロミ」へ変更となる。
- ・ R4.4.21に認知症高齢者への食支援に関する研修を行った(26名参加)
- ・ R4.10.5に口腔ケアの新しい介助法で「電郵」タブレットの試用を行った。

令和 4 年度

専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
排泄専門委員会									

担当者名

古見貴子 長野雅代 札本由美 あけみキハリー
 田村富士美 竹下陽二郎 アンドレスローズマリー 川本みどり

活動状況

6月16日(木) 18'15～ユニチャーム 関口さん

。おるのこスツキリ便秘ケア

→ 高齢者の排便トラブルと下剤の使い方。

→ 自然排便を促す便秘ケア。

→ アセスメントに基づく便秘ケアのアプローチ。

→ ケースワークで学ぶ便秘ケアの実践。

。7月より、ブリストル排便性状態スケールを使用した排便記録表も実際に数名で使用してみる。

→ 9月より排便記録用紙を変更した。

8月25日(木) 15'30～リグドゥ コーポレーション 柴田さん

。9月より、リグドゥのサンプルモニターに使用する。

。10月より、リグドゥの紙オムツとパットを使用開始する。

→ 10月後半より肌荒れする人増加、11月より、ユニチャームに変更する。

9月30日(金) 18'15～

。排泄専門委員と各部署の主任によるミーティング

2月20日(月) 17'45～ユニチャーム 関口さん

。年末から一月にかけて、パットの消費量が激しく増えたため、使い方の見直しも行う。

→ 冬場は発汗も少なく尿量が増える。

→ 独自の変え方もやめる。(時間やパットの種類)

→ 以前のように、パットや紙オムツの使用状況の確認と把握のため記録シートを置く。

令和 4 年度 専門委員会活動実施報告書

令和 4 年度

委員会名

施設長

指導員

事務長

相談員

看護総括

看護主任

介護総括

介護総括

記入者

移動移乗専門委員会











担当者名

尾家みゆき 二宮サトミ 宇野賢治 志賀富久美

久末英明 川本里美 高田恭士

活動状況

。新人職員、技術の未熟な職員を対象とした研修を行い、
 移動、移乗技術の基本を学んだ。(令和4年6月15日)

・ボディスティックの基本
 移動の移乗の実践

(介護者の腰痛等の予防、又、利用者の負担の軽減のため)

。身体拘束の3か月に1回の研修会への参加。身体拘束のバ
 行われている利用者への適正化の見直し。(5月、8月、11月、2月)
 ・身体拘束者の現状についての報告
 ・適正化についての検討及びディスカッション(各部署の意見
 交換)
 ・映像資料を使用した研修。

。車椅子等の整備、利用者に応じた物品の見直し。

専門委員会活動実施報告書

委員会名	施設長	指導員	事務員	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
環境整備専門委員会									

担当者名

宮川裕美 濱砂智子 古川陽大 木村淑美
 宮崎昌美 沖山俊 田籠律子

活動状況

・施設内の設備の点検を行い、果敢とした時、事務所に報告した。又、バド、移動物品の点検を行い、修理で進ると言うは、CVRで実施。他、てきん、たは、事務所に衣類など。

① バド モータ-内部の工が割。(原因は、コードの断線によるもの)とバドを移動させる時に、コードをタイで踏むという状況に職員に注意喚起する。

② 2F、3Fの放送用マイクの故障にて、業者にて修理依頼した。一時修理完了、工コンパイル-の清掃を行う。
 ・月-日の園内清掃又、各階のバグ、窓の清掃を行う。
 ・居室内の清掃(特に、バグ関連 エレベーターの清掃等)。

・園内外散策も、バグ、清掃等の行事を計画し、入所者には一部を欠かし、各所を散策した。又、壁面でも掲示物は、入所者の異食等には注意し、四季を感ぜしめるよう写真撮影を行う。

・感染症対策としては、水拭き通りに予防、対策を実施。
 ・に限り部屋のアルコール消毒
 (中心、履物の入れ、手洗い、バグの消毒等)
 職員、入所者の手洗いの励行。(職員は、マスク着用義務)
 2023年問万世に課文。

令和 4 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
手芸クラブ									

担当署名

田中さゆり 古見貴子 札本由美 岸本ひとみ 松本真弓
 宮崎昌美 濱砂智子 黒岩美栄子 ヲバノコーズワラー

活動状況

4/27 ~ こいのぼりの壁飾り (23名)

画用紙で"外枠"を作り、折り紙で作ったこいのぼりを貼る

5/14 ~ 季節のぬり絵 (20名)

6/22 ~ テタ飾り作り (19名)

矢豆本冊にお願い事を書く

7/27 ~ 夏の壁面作り (18名)

アサガオとひまわりをモチーフに貼っていく

8/31 ~ コスモスの花作り (21名)

9/28 ~ 柿のつるし飾り (20名)

画用紙で"柿"を作り干しがきのおうにつるす

10/29 ~ さげんがのカレンダー (18名)

11/26 ~ クリスマス飾り (17名)

画用紙をエレンデュールにまきつけたい飾りを作り星型の枠に貼っていく

12/21 ~ 季節のぬり絵 (23名)

1/28 ~ お福さんの扇飾り (16名)

画用紙でお福さんの顔を作り扇型の画用紙に貼る

2/11 ~ 菜の花のカレンダー (30名)

3/22 ~ チョーリッソ (25名)

令和 4 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名 音楽クラブ	施設長 	指導員 	事務長 	相談員 	看護総括 X	看護主任 	介護総括 	介護総括 	記入者 
---------------	---	--	--	--	-----------	---	---	---	--

担当者名

川本里美 宮川裕美 北山照美 ゆきこナネット 前田茉莉
 真浄友輝 田籠律子 友枝悦子 なつみメイ

活動状況

・ 昔の懐かしい歌や季節の歌を選曲し、その当時の事を思い出してもらい、楽しい雰囲気を作りました。又季節感を味わってもらうと共に歌に親しみを持ってもらえました。

・ コロナの影響もあり、体と動かし、楽器を使用し、多くの人が参加しました。

・ 友人社団会など、参加の人数も内容も歌、合奏など取り入れる事が出来ました。





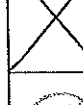

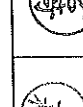
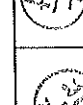
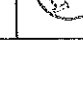
・ 季節の歌と歌の事、また、言葉、音楽、おなうなるとして、歌に親しむ人が増えてきた。参加の人数も増えてきた。

クラブ活動実施報告書

令和 4 年度

クラブ名

書写クラブ

施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
								

担当署名

北山照美 川本里美 竹下陽二郎 古川陽大 前田かほる
 羽野美紀 濱砂智子 札本由美 あけみかハリー

活動状況

利用者のレベルに合った課題を提供し、無理なく楽しめる書写活動を行った。
 季節に応じた作品にも取り組み、季節感を感ぜてもらえるようにした。
 コロナ禍での活動であったが、2F、3Fと別にを行ったり、感染予防対策を行い、活動も続ける事ができた。
 出来上がった作品は施設内で展示し、他の利用者にも鑑賞してもらうよう一冊かき取りを作成した。

年間

1月 書初め、写真撮影

2月 3Fの書道展出品

7月 ラチョウ作り

10月 文化祭

令和 4 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名 吟詠クラブ	施設長 	指導員 	事務長 	相談員 	看護総括 X	看護主任 	介護総括 	介護総括 	記入者 
---------------	--	---	--	--	-----------	---	---	---	--

担当者名

竹下陽二郎 宇野賢治 松崎優子 野原千津子
 太農達也 井上翔平 大島末子

活動状況

◎ 発声による筋力、聴下機能の向上、慣れ親しんだ詩歌に角柱れ楽しい時を過ごして頂けるよう月1回実施している。

・ 発声練習 腹式呼吸により腹筋を鍛え、健康増進・発語を促す。

・ 詩道五則 吟詠の心をかゝり大きな声で発声する

・ 合吟「富士山、名槍日本号、黒田節」歌謡吟を伴奏CDを使用
 して者さんに馴染みのある歌に詩吟、なつかしい歌の部分は皆さん大きな声が出て参加されていた。

・ これぞ秋季節に合った吟詠、馴染みのある歌、和歌、短歌を素読して古の情感を感じてもらった。

「たわもれに」「山行」「九月十日」「雨の田原坂」「人生の並木道」

・ CD鑑賞 「白虎隊」「川中島」

・ 行事の際には合吟を行ない、会場の皆さんと一緒に楽しんでいただく。

創立記念式典、敬老の日祝賀会など

・ リハビリ体操 職員に合わせ、顔体操、肩、首の体操を行なった。皆さん真剣に参加されていました。

令和 4 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名	カラオケクラブ	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
										

担当者名

久未英明 真淨友輝 羽野美紀 めぐみキミ 末次恵子
 長野雅代 森田ヒカリ ヲバ・レスポーター 末森さとみ

活動状況

〇カラオケ教室

。月1回 10~11月 末次先生 指導の仕 実施。

。5~6月の課題曲を練習しての練習曲。

。〈曲〉、夕映の郷、浪花恋心、城井慕情、モリ子橋
 、おたけの宿、人並みの旅、幸せな夜に...

〇カラオケクラブ

。七月カラオケ大会 (7月) 実施。

各部置の人数が少なかった
 審査にて賞が与えられる。

令和 4 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名	実施長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
喫茶クラブ								

担当者名

島村生子 田村富士美 長野雅代 仲千秋 なつみマゲイ
 二宮サトミ 宮崎昌美 森田ヒカリ ゆきこナネット あけみキハル 木村淑美

活動状況

月に2回の喫茶を実施 (14:00 ~ 15:30)
 (1人1杯)

メインのお菓子 (スートポテト、おしるこ、リンゴのコンポート、カスタ
 (水羊かん、じら焼き、等))

糖尿病、燕下機能低下の方 (ポリニ、ヨークルト等)
 (飲み物)

コーヒ、紅茶、こじ茶、ジュースの中より隣んどらう。

メインは、食べやすく、毎回メニューを替え利用者に乗
 しんごもらせるよう工夫。


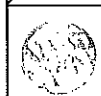
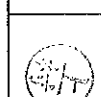
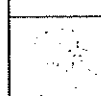
燕下障害の方には、トロミ剤の準備。

糖尿病の方は、低糖質メニュー/ニカローメニューの用意

・コロナウイルス感染予防のため各階時間とすらし
 て実施、机の配置も間隔をあける等密にさら
 ないよう行った。

・コロナの終息が未だ完全ごぼい、為少しごも心和
 やかに過ごせるよう音楽を流した。

クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
リハビリ係									

担当者名

沖山 俊 宮崎 勇人 古川 陽大 高田 恭士 志賀 富久美 松本 須磨子
 上村 千春 尾家 みゆき 尾形 正和 田籠 律子 太農 達也 ローズ マリー

活動状況

戸祭先生による音楽リハビリ(毎月一回)10:15～11:00

・戸祭先生指導による音楽を聴きながら体を動かし、可動域訓練を行います。(鳴子・鈴・ボール等使用)
 ・戸祭先生を手本に職員が利用者を紹介しながら、腕や足の屈曲伸展等普段なかなかできないことを行います。コロナ禍にて中止することもありましたがコロナ感染の状況を見ながら実施しました。

個別音楽療法(木・金曜日)9:30～10:15

・寝たきりの方を対象に音楽に合わせて可動域を広げたり屈曲したり、マッサージなどを行い、入所者に寄り添いながら実施します。(一人15分程度)中止する月が多かったが多い時は8人が月2回実施出来た。

ラジオ体操(毎週水曜日・日曜日)14:30～14:45

・各部署のリハビリ担当職員及び他の職員で対応してもらい、ラジオ体操(可動域訓練)を行っています。始まり・終了の放送は入所者の方に協力してもらっています。良い発声練習にも繋がりが、放送に協力してくれる入所者も増えているので、今後も続けていきたいと思ひます。

コロナ禍で入所者の動きが少ないときは土曜日の予定のない時間にラジオ体操を追加実施しています。

創立記念祭・敬老祝賀会での来賓・家族参加型レクレーション(4月・9月)

・創立記念日はことば遊び・温泉巡りとお題を決めて、温泉地の名前を読んでもらうクイズでした。当たった人には商品を出しました。皆さん大きな声答えてくれました。笑顔が見られて良かったです。

・敬老祝賀会は風船運びゲーム(あおいで、あおいで)をしました。紐にこうした風船を団扇であおぎ進めていく競技です。

黒土小学校との合同運動会(10月)は中止となりました。

他の行事の都合により中止となりましたが入所者のみなさんは、楽しみにしていると思いますので令和5年度は皆さんに喜んでもらえるようなゲームにしたいと思います。

カルタ ・ 福笑い (R5年1月1日)










・感染予防策にて縮小して、各部署で行いました。

節分ゲーム大会(R5年2月4日)

・コロナ禍にて、感染予防対策をとり、実施しました。一番好評なのが風船割り競争でした。日頃の鬱憤を晴らすように風船を一生懸命叩いていました。最後に外で年男年女の入達が豆をまきました。

令和 4 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
防災担当									

担当者名

真鍋宏一郎

近藤拓也

島村生子

矢鳴淳成

佐々木みどり

宇野賢治

沖山俊

井上翔平

塚本豊

片山拓也

活動状況

○総括
令和3年度から引き続き新型コロナウイルスの感染予防に努めながらの防災活動となったが、日中・夜間を想定した避難訓練を中心に防災訓練・防災研修を定期的に行うことができた。

令和4年度は前年度と同様に、非常時にスタッフ個々が状況や自分の役割を的確に判断できるようにすること、およびスタッフ間の連携がスムーズにはかれるようになること、主な訓練目標とした。

特に各フロアでの火災を想定した訓練を重点的に行い、実施した訓練の反省点を次回以降の訓練計画に反映させることを意識したことで段階的にスタッフの認識・理解が高まり、訓練の質を向上させることができていると思われる。また、実際の勤務状況(夜勤状況)等を加味した上での訓練を行うことで、介護職員主導で訓練の内容および実施方法を決定・担当することができ防災意識の向上を感じた。

令和5年度は同目標のもと計画的に防災訓練を実施していくとともに、新型コロナウイルス移行に伴う感染予防対策緩和の傾向を受け、京葉消防本部立ち合いによる防災訓練の再開を検討していく。

実施内容

- 4月17日 夜間3階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
- 5月29日 夜間2階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
- 6月22日 台風・水害時による停電を想定した発電機の使用訓練
- 7月24日 夜間3階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
- 8月 職員にコロナ感染が相次いだ為中止
- 9月7日 排気ダクト・屋内散水栓等防火設備の稼働訓練
- 10月29日 夜間2階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
- 11月11日 火災報知器作動時の対応についての指導・訓練
- 12月・1月 入所者にコロナ感染あり中止
- 2月19日 夜間2階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練
- 3月19日 夜間3階での火災発生を想定した初期消火・避難誘導訓練

9月7日

排気ダクトを稼働させることがない為、九州保安協会の指導の下、稼働状況の確認を実施した。非常時に適切に適切に使用できるよう稼働ボタンの位置確認やボタンを押した後の稼働状況、稼働後の停止までの一連の流れを体験した。また、屋内散水栓の放水体験も実施し、ホースを使用した際に感じる実際の水圧等を体験した。今後も排煙装置等の防災設備を定期的に移動的に稼働させ、火災発生時には全ての職員が適切に行動できるよう研修を重ねていく。


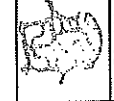


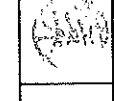

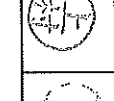

11月11日

11月5日入所者が非常ベルを誤作動させる事案あり。防災監視盤とセコム監視装置の解除法について職員に周知徹底する為九州電気保安協会の指導の下、解除方法について学んだ。

今後も定期的な訓練・研修や防災担当者会議等を通じて、施設の防災対策を徹底していくとともに、スタッフの防災意識向上に一層努めていきたいと思う。

令和 4 年度

クラナブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	事務長	相談員	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
広報編集担当								

担当者名

古見淳 田村富士美 仲千秋 川本みどり 前田武雄
生田義文 高田恭士 上田京子 宇都宮生雄

活動状況

令和4年度の広報編集委員の活動においてはコロナ対策として4ページの構成に変更しています。

あかり142号 (令和4年6月15日発行)500部

- 1, 季節のページ(園内中庭のツツジ)、雑感
- 2, 家族投稿(上田喜代子さん長男)、行事報告(2月～5月)、新入所者の紹介
- 3, 健康教室(平良祥先生)、ほのぼのコーナー(お誕生日、ふるさと訪問、日常)
- 4, デイサービス日より、施設内研修、御礼コーナー、スタッフ紹介

あかり143号 (令和4年10月20日発行)500部

- 1, 季節のページ(園外散歩)、雑感
- 2, 家族投稿(宮崎秀俊さんの妻)、ほのぼのコーナー(日々の生活)、新入所者の紹介
- 3, 行事報告(6月～9月)
- 4, デイサービス日より、御礼コーナー、スタッフ紹介

あかり144号 (令和5年2月10日発行)500部



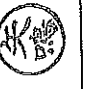
- 1, 季節のページ(書き初め)、雑感
- 2, 健康教室(平良祥先生)、ほのぼのコーナー(新年行事)
- 3, デイサービス日より
- 4, 行事報告(10月～1月)、新入所者の紹介、スタッフ紹介、御礼コーナー

上記3号を発刊しました。編集活動においては一か月前に編集会議を行いました。担当者が各ページを作成し、全体的な構成を毎回担当者を決め、出来るだけ同じような内容にならないよう配慮を行いました。また、掲載の内容の濃いものにし、行事報告だけでなく、入所者の表情をもっと取り上げていきたい。面会が十分にできないご家族の為に請求書発送時にあかり号も同封するようにした。

ホームページにおいては季節ごとの行事の報告やお知らせは随時更新するようにしています。広報誌「あかり号」も多くの方に見ていただけるようにホームページにデジタル版を掲載しています。ホームページは令和5年3月1日時点で18,500回閲覧数を突破しております。閲覧数も徐々に増え、入所者の御家族もお知らせ等も確認していただけているようです。また、入所者の御家族だけでなく、入所を検討している御家族にもコロナ禍により施設内の見学ができないため、ホームページ内に居室や設備の様子を分かりやすく掲載し、「閉鎖的にならない、選んでもらえる施設」を目指していく。

令和 4 年度

クラブ活動実施報告書

クラブ名	施設長	指導員	専務長	相談員	看護総括	看護主任	介護総括	介護総括	記入者
聞法会担当					X				

担当者名

尾家慶彦

尾形正和

石橋悦子

太田ひとみ

矢鳴淳成

松崎優子

野畑真由美

活動状況

令和4年度は計画通り4回の聞法会を実施しました。

1. 令和4年4月21日(木曜日)

徳善寺住職

法話内容 正信偈より【必至滅度】【至心信樂】について

参加者 特養48名 デイ2名 職員12名

2. 令和4年6月23日(木曜日)

宝福寺住職

法話内容 【兵戈無用】・【安穩=平和】について

参加者 特養41名 デイ2名 職員15名

3. 令和4年10月26日(木曜日)

正明寺住職

法話内容 南無阿弥陀仏の意味について

参加者 特養46名 デイ2名 職員15名

4. 令和5年2月23日(木曜日)

正念寺住職

法話内容 お布施の種類について、恩徳讃の合唱

参加者 特養48名 デイ1名 職員14名

コロナの為読経の際は極力マスクを着用しつつ、利用者・職員にお経本を配り、ご住職と一緒に読経しました。それぞれページをめくりつつ、発声し身体の活性化につながりました。また馴染みのお寺さんとの交流でき喜ばれていました。

令和4年度

デイサービスセンター 亀保の里

事業報告書

I 事業活動報告

II 利用実績

1. 介護度別利用実績
2. 月別延べ利用者数の状況
 - (1) 総合事業
 - (2) 介護保険利用者
 - (3) 総合計
3. 介護保険利用者の食事・入浴・送迎回数
4. デイサービス利用者年度別推移
5. 介護度別利用登録者数の月別推移

III 行事実績

以上

I 事業報告

年間利用実績

令和4年度は、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染予防を行いながらサービスの提供を行いましたが、利用回数の総合計につきましては年間を通して前年度をやや下回る実績となりました。新型コロナウイルス感染拡大予防、台風・積雪による営業中止が計5日間あり、総合事業での利用者数も減少したものの要介護の利用者数は9月以降上昇傾向にあり、今後とも要支援・要介護にかかわらず広く利用者の受け入れを行い、利用実績確保に努めます。令和5年5月8日より2類から5類へと新型コロナウイルスの感染症の位置付けが移行しましたが、高齢者が新型コロナウイルスに感染した際の重症化リスクは依然として否定できない状況にある為、今後も感染予防を徹底したサービスの提供に努めます。通所型サービスについては、介護保険非該当に属する高齢者が潜在的に多く、一定数の利用を確保していきたいと考えます。「通所型サービス（緩和）」については、対象者に提供されるサービスが限られることにより、サービスを希望する利用者がいないことから、豊前市・吉富町・上毛町からの利用依頼はありません。総合事業によるデイ利用回数については、従来よりデ

よりデザイン利用を継続して利用していただいている方については週2回まで、新規の方については、要支援1は週1回、要支援2は週2回までの利用を基本とし、本人・家族の要望やサービスの必要性、また施設行事等への参加希望があった際に、例外的に追加利用を認めている現在の利用方法を維持し、より利用者の生活スタイルにあったサービスが提供できるように対応しています。総合事業による利用者が、今後も継続して利用できるように努めるとともに、状態に変化が見られた際には、適した介護区分に移行できるよう家族・ケアマネジャーと連携し対応します。

令和4年度は要介護者4名、総合事業利用者4名の計8名を新規利用者として獲得。長期入院者7名、特養に入所及び短期入所のみ利用に変更した方が3名、他の事業所への利用変更・自宅療養者2名。令和5年5月現在、継続利用者数は総合事業（通所型）が24名（要支援1・要支援1相当が18名、要支援2が6名）、要介護者16名。

II 利用実績

1. 令和4年度介護度別利用実績

月	総合支援1	総合支援2	総合合計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護合計	総合計
4月	145	45	190	47	56	13	27	0	143	333
5月	158	45	203	47	50	13	21	0	131	334
6月	148	47	195	49	67	0	26	0	142	337
7月	142	39	181	75	116	0	26	0	217	398
8月	111	24	135	67	87	0	13	0	167	302
9月	131	33	164	73	80	18	15	0	186	350
10月	119	40	159	84	68	18	16	0	186	345
11月	113	38	151	75	67	23	18	0	183	334
12月	113	37	150	76	41	23	15	0	155	305
令和5年1月	86	38	124	86	35	22	14	0	157	281
2月	94	44	138	89	35	23	16	0	163	301
3月	105	48	153	106	40	31	11	0	188	341
合計	1465	478	1943	874	742	184	218	0	2018	3961
総合割合(%)	36.99%	12.07%	49.05%	22.07%	18.73%	4.65%	5.50%	0.00%	50.95%	100.00%

※総合支援1は要支援1と要支援1相当(事業対象者:非該当)を含む

2. 月別延べ利用者数の状況

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	190	25	7.6
5月	203	26	7.8
6月	195	26	7.5
7月	181	26	7.0
8月	135	23	5.9
9月	164	24	6.8
10月	159	26	6.1
11月	151	26	5.8
12月	150	26	5.8
令和5年1月	124	23	5.4
2月	138	24	5.8
3月	153	27	5.7
合計	1943	302	6.4

(1) 総合事業利用者

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	143	25	5.7
5月	131	26	5.0
6月	142	26	5.5
7月	217	26	8.3
8月	167	23	7.3
9月	186	24	7.8
10月	186	26	7.2
11月	183	26	7.0
12月	155	26	6.0
令和5年1月	157	23	6.8
2月	163	24	6.8
3月	188	27	7.0
合計	2018	302	6.7

(2) 介護保険利用者(要介護1以上)

月	延べ人数	開館日	1日平均
4月	333	25	13.3
5月	334	26	12.8
6月	337	26	13.0
7月	398	26	15.3
8月	302	23	13.1
9月	350	24	14.6
10月	345	26	13.3
11月	334	26	12.8
12月	305	26	11.7
令和5年1月	281	23	12.2
2月	301	24	12.5
3月	341	27	12.6
合計	3961	302	13.1

(3) 総合計

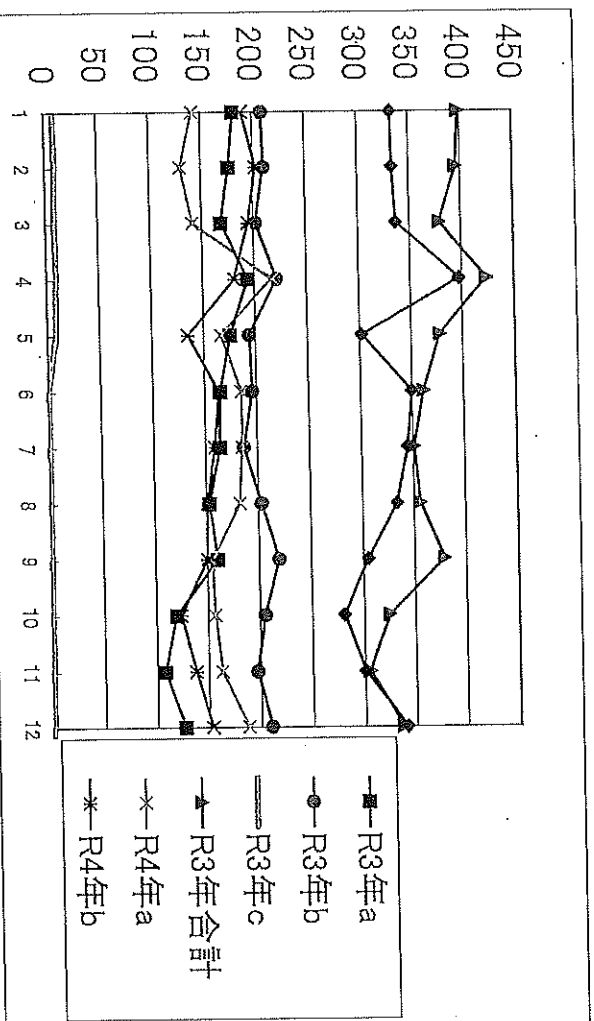
3. 介護保険(要介護1以上)利用者の食事・入浴・送迎回数

月	延べ人数	送迎			食事
		迎え	送り	一般	
4月	143	134	143	135	143
5月	131	122	131	122	131
6月	142	126	142	138	142
7月	217	197	217	213	217
8月	167	154	167	159	167
9月	186	184	186	177	186
10月	186	184	186	176	186
11月	183	181	183	180	183
12月	155	151	155	155	155
令和5年1月	157	156	157	157	157
2月	163	162	163	162	163
3月	188	188	188	178	188
合計	2018	1939	2018	1952	2018
割合(%)	-	96.1%	100.0%	96.7%	100.0%

サービス利用回数の月別推移および前年度との比較

月	R3年a	R3年b	R3年c	R3年合計	R4年a	R4年b	R4年合計
4月	182	209	8	399	143	190	333
5月	177	210	9	396	131	203	334
6月	169	202	8	379	142	195	337
7月	194	221	9	424	217	181	398
8月	176	194	8	378	167	135	302
9月	165	196	0	361	186	164	350
10月	164	187	0	351	186	159	345
11月	153	203	0	356	183	151	334
12月	160	219	0	379	155	150	305
令和5年1月	120	205	0	325	157	124	281
令和5年1月	108	197	0	305	163	138	301
2月	127	210	0	337	188	153	341
3月	1895	2453	42	4390	2018	1943	3961

※ a: 要介護1以上 b: 総合(要支援1・2) c: 総合(緩和)



5. サービス介護度別利用登録者数の月別推移(実績のある方のみ)

月	総合支1	総合支2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
4月	25	5	5	5	1	3	0
5月	25	5	5	5	1	2	0
6月	25	5	6	5	0	2	0
7月	24	4	8	8	0	2	0
8月	22	4	10	7	0	2	0
9月	23	4	9	6	2	1	0
10月	22	4	9	5	2	2	0
11月	20	4	9	5	2	1	0
12月	20	4	9	4	2	1	0
令和5年1月	17	5	10	3	2	1	0
2月	19	5	10	3	2	1	0
3月	18	5	10	3	2	1	0

Ⅲ 令和4年度行事実績

月	行事	実施状況	参加利用者数	月	行事	実施状況	参加利用者数
4/1～4/2	桜見バスハイク	大貞公園、吉富「道の駅」	23名	7/6	七タカラオケ大会	特養棟にて	13名
4/18～4/20	誕生会	ホールにて	34名	7/11～7/13	シヨッピング	ゆめアト	24名
				7/18～7/20	誕生会	ホールにて	35名
5/16～5/18	誕生会	ホールにて	36名	8/8～8/10	シヨッピング	ゆめアト	21名
				8/15～8/16	誕生会	ホールにて	23名
				9/12～14	シヨッピング	ゆめアト	22名
6/13～6/15	シヨッピング	ゆめアト	22名	9/20～9/21	誕生会	ホールにて	24名
6/16～6/18	バスハイク	枝河内紫陽花ランド*	32名	10/10～10/12	シヨッピング	ゆめアト	21名
6/20～22	誕生会	ホールにて	35名	10/17～10/19	誕生会	ホールにて	32名

月	行事	実施状況	参加利用者数	月	行事	実施状況	参加利用者数
11/7 ~ 11/9	ショッピング	ゆめマート	23名	2/6 ~ 2/8 2/13 ~ 2/15 2/23~24 3/6 ~ 3/8 3/11 3/13 ~ 3/15	ショッピング	ゆめマート	23名
11/14 ~ 11/16	誕生会	ホールにて	35名		誕生会	ホールにて	34名
					バスハイク	椎田、網敷天満宮	21名
					ショッピング	ゆめマート	22名
12/12 ~ 12/14	ショッピング	ゆめマート	22名	バスハイク	求菩提資料館	11名	
12/19 ~ 12/21	誕生会	ホールにて	34名	誕生会	ホールにて	34名	
令和 5年							
1/5 ~ 1/7	バスハイク	大富神社 嘯吹八幡	26名				
1/9 ~ 1/11	ショッピング	ゆめマート	22名				
1/16 ~ 1/18	誕生会	ホールにて	33名				

令和04年度 居宅介護支援事業所 亀保の里 事業実績報告
令和05年6月

はじめに

当居宅介護支援事業所は、要支援・要介護者・その家族の方の意向を基に地域での「自立」した生活支援のため、保険・医療等関連分野との連携を行いながら、介護計画の作成及び介護サービスの利用調整や行政サービスの調整を行いました。

居宅介護支援事業について、介護保険の理念に則り、要介護1以上の方に支援を行いました。介護予防の居宅支援事業も、地域包括支援センターからの委託を受け、要支援と認定された高齢者の方の支援を行いました。

利用者状況について

現在(令和05年、3月末)の当事業所において介護の支援を行っている登録者の方は51人で、要支援1・要支援2の認定で、地域包括支援センターから、委託を受けて居宅支援を行っている方は1人です。

サービス利用の実績について

令和4年度の、月毎の居宅支援実績を行った人数を、(表1)に表しました。
令和4年度(表1)は、総数563人の居宅支援サービスをを行い、月平均 46.9人となっています。

表1 令和03年度 居宅支援実績 (月別)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	19	21	22	23	24	24	27	28	28	29	28	27	300
要介護2	8	8	11	12	12	11	10	9	9	9	12	11	122
要介護3	5	5	3	3	4	2	2	3	5	5	6	5	48
要介護4	6	7	7	7	7	5	5	5	6	7	6	7	75
要介護5	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1	18
月計	38	42	44	47	49	44	46	47	50	52	53	51	563

現在の利用者の方の介護度別に表したものが、下記のグラフになります。
 要介護1の利用者の増加傾向とともに要介護4・5の方の割合が増えています。
 利用者個々の状況に応じ、本人意向を尊重して、支援内容や事業所を選定し、必要なサービス提供を行っています。

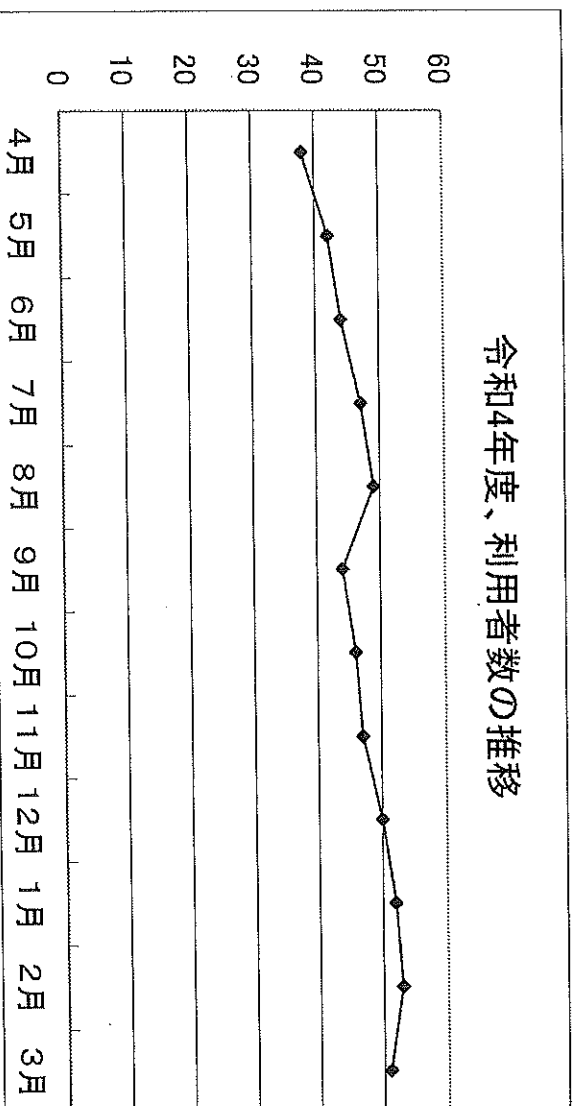
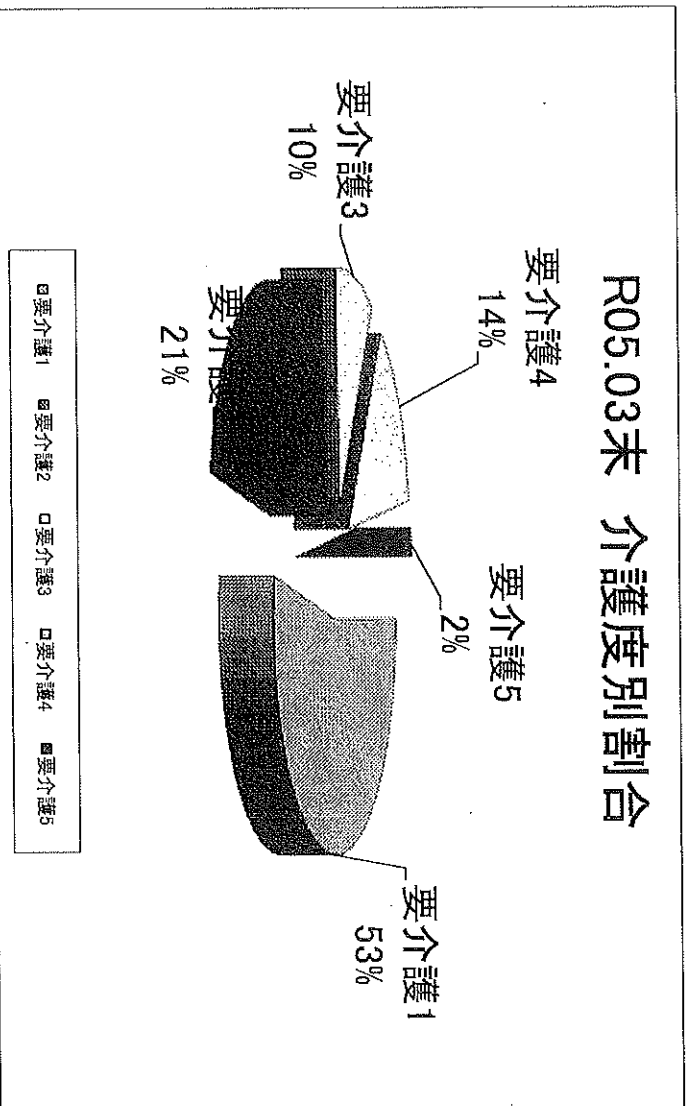


表3は、要支援認定を受けられた方、いわゆる予防の介護を受けられており、当事業所で居宅支援を受けられているかた(プランを立てている方)です。

表2 令和04年度 予防支援実績 (月別) (人)

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

新年度への取り組みについて

居宅介護支援の提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者・家族に対しサービスの提供方法について、理解しやすいように説明を行う。

運営基準減算に該当しないよう、毎月利用者の居宅訪問・モニタリング・担当者会議・評価を確実に責任を持って行う。

専門職としての、業務を的確に行なえるよう内外的な研修会に参加し、資質向上に努める。さらに、人材の育成や教育機能の強化を図り、選ばれる事業所となるよう努める。

利用者の自立した日常生活の支援を効果的に行うために、利用者の心身や家族の状況等にに応じて継続的かつ計画的にサービス利用を行う。

